

令和6年度

事業報告書

旭川市工芸センター

令和 6 年度 事業報告書

目 次

1	工芸センターの概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	技術指導・各種相談・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3	機械設備使用・試験分析業務・・・・・・・・・・	4
4	研修会・講習会・講演会・・・・・・・・・・・・・	5
5	販売促進支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
6	情報収集・発信事業・・・・・・・・・・・・・・・・	6
7	受入研修・派遣指導等・・・・・・・・・・・・・・・・	6
8	講師・審査員・委員等派遣・・・・・・・・・・・・・	6
9	事業等紹介 ～令和 6 年度の取組～・・・・・・・・	7

1 工芸センターの概要

当所は、旭川市の主要産業である木工芸及び窯業の生産技術向上並びに品質の改善等の研究指導を行い、これら工業の振興発展に寄与することを目的に設置された。

(1) 沿 革

昭和12年(1937)	4月	技術指導機関として、木工、窯業、農産加工を含む旭川市立産業指導所が設置される。
昭和18年(1943)	3月	第二次世界大戦のため、産業指導所を廃止する。
昭和21年(1946)	1月	業界の要望、地域の特殊性を生かすため、常磐公園内に旭川市窯業指導所が設置される。
昭和23年(1948)	10月	9条通9丁目に旭川市共同作業所が設置される。
昭和30年(1955)	4月	共同作業所を廃止して旭川市木工芸指導所が設置される。
昭和36年(1961)	11月	施設狭あい等の理由により、木工芸指導所を豊岡3条3丁目に移転する。
昭和42年(1967)	4月	施設狭あい等の理由により、窯業指導所を木工芸指導所敷地内へ新築移転する。
昭和51年(1976)	5月	木工芸指導所、窯業指導所を統合し旭川市工芸指導所と改称する。
平成8年(1996)	4月	施設設備の老朽化等の理由により、工芸指導所を緑が丘東1条3丁目（現在地）に移転する。
平成9年(1997)	12月	旭川市工芸センターと改称する。

(2) 施 設

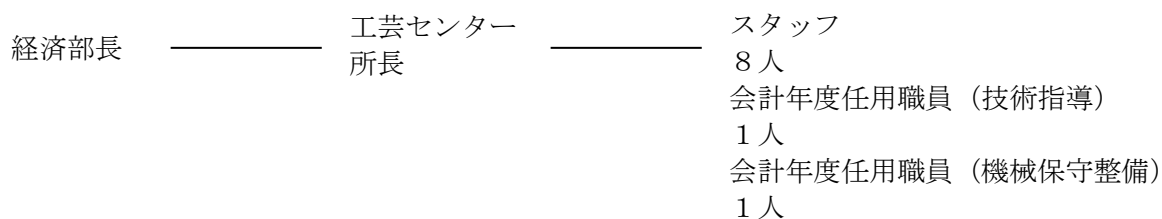
住 所： 旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内
敷地面積： 10,315.70㎡
延床面積： 5,520.905㎡（うち工芸センター 1,758.19㎡）

(内訳)

事 務 室	101.13㎡	接着金工室	70.84㎡
ミーティング室	33.94㎡	集 塵 室	56.60㎡
技術開発室	203.40㎡	窯業研究室	192.69㎡
機械加工室	363.93㎡	材料試験室	50.05㎡
合 板 庫	30.60㎡	製品試験室	55.14㎡
資 材 庫	96.00㎡	会 議 室	79.46㎡
塗 装 室	55.00㎡	ショールーム	163.61㎡
木材乾燥スペース	65.02㎡	そ の 他	140.78㎡

(3) 組 織

1 課 9 人（スタッフ制）



(4) 運営委員会

当所の円滑な運営を図り、関係業界、有識者等の意見を反映するため、旭川市の附属機関として旭川市工芸センター運営委員会を設置している。令和 6 年度は 8 月 22 日に開催した。

業界代表		学識経験者	
旭川家具工業協同組合	藤田 哲也	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場	河原崎政行
〃	木村 亮三	北海道立旭川高等技術専門学院	澤田 貴之
旭川建具事業協同組合	河野 広秀	東海大学	笹川 寛司
旭川地方木材協会	宮島 真	国立大学法人 北海道教育大学旭川校	小泉 匡弘
旭川木のモノ組合	井上 寛之	北海道インテリアコーディネーター協会	中村 雅彦
旭川陶芸協会	滝野沢泰子		

※任期：令和 5 年 12 月 1 日から令和 7 年 11 月 30 日までの 2 年間

(5) 使用料及び手数料 (令和2年4月1日料金改定)

① 使用料

設 備		1 件の単位 (時間)	使用料 (円)	設 備		1 件の単位 (時間)	使用料 (円)
木 工 機 械	帯のこ盤	1	460	木 工 機 械	ストロークサンダー	1	720
	高速度単軸面取盤	1	450		プレス機	1	1,250
	卓上ボール盤	1	400		5 軸制御 NC ルータ実験機	1	4,230
	リンク式横切丸のこ盤	1	480		炭酸ガスレーザ彫刻システム	1	2,670
	高速丸のこ盤	1	460		ワイドベルトサンダー	1	1,650
	角のみ盤	1	420		長円ほぞ取機	1	850
	ダボ孔ボーリングマシン	1	700		自動長穴明機械	1	780
	手押かんな盤	1	460		コーナーロッキングマシン	1	780
	自動かんな盤	1	550		糸のこ盤	1	430
	4 軸ほぞ取盤	1	580	試 験 機 器	耐光性試験機	1	890
	エッジベルトサンダー	1	630		恒温恒湿環境試験機(大)	24	4,140
	リップソー	1	540		恒温恒湿環境試験機(小)	24	2,080
	4 点式万能帯のこ盤	1	520		家具強度試験機	1	1,080
	高周波加熱装置	1	1,110		振動試験装置	1	4,600
	そで付昇降盤	1	700	窯業 機械	電動ロクロ	1	180
	高周波ルータ	1	940		真空土練機	1	220
	カットボーリング面取機械	1	970				

② 手数料

業 務		1 件の単位	手数料 (円)	業 務		1 件の単位	手数料 (円)
木 材 木質材 試 験	強度試験	5 試片 (料) まで	910	塗料及び 塗膜試験	塗膜強度試験	1 条件 5 試料まで	400
	含水率測定	1 条件 5 試片 (料) まで	550		耐摩耗試験	5, 000 回ごと	420
接着力試験		1 条件 5 試片 (料) まで	910	振動試験		1 条件	26, 300
製 品 性 能 試 験	繰返し荷重試験	4, 000 回ごと	2, 640	その他の木工関連試験		32, 400 円以内で その都度市長が定める	
	繰返し衝撃荷重試験	4, 000 回ごと	2, 640				
	静的強度試験	1 条件	1, 240	窯業試験 ・ 調整	吸水試験	1 試料	490
	衝撃試験	1 条件	1, 240		強度試験	1 試料	490
	耐久性試験	12, 500 回ごと	5, 520		乾燥試験	1 試料	790
恒温恒湿処理試験 (大)		1 日	2, 560		材料調整	1kg	1, 020
恒温恒湿処理試験 (小)		1 日	2, 500	その他の業務		32, 400 円以内で その都度市長が定める	
恒温水槽試験		1 日	450				
試験分析成績証明書		1 件又は 1 通	310				

2 技術指導・各種相談

企業からの依頼に応じ、技術・設備・管理計画等の個別課題に関し、指導・相談を行った。

技術指導・技術相談の内容	技術指導	相談
木材乾燥	0	0
コンピュータ関連技術	2	2
デザイン	1	0
木材加工技術（木材加工等）	5	5
接着接合・塗装技術	8	0
材料強度関連	0	0
製品の品質、性能に関する技術（JIS試験等）	11	5
窯業技術（釉薬、成型、焼成）	13	7
その他	0	3
計	40	22

3 機械設備使用・試験分析業務

企業等への機械設備貸出、及び企業等からの依頼試験・分析等を行った。

(1) 機械設備使用

設 備 名	件数	時間	設 備 名	件数	時間
木工機械			高周波ルータ	41	76
帯のこ盤	28	44	プレス機	11	11
高速度単軸面取盤	2	2	5軸制御NCルータ実験機	10	41
卓上ボール盤	1	1	炭酸ガスレーザ彫刻システム	65	109
リンク式横切丸のこ盤	49	50	ワイドベルトサンダー	32	33
高速丸のこ盤	52	72	長円ほぞ取機	42	169
ダボ孔ボーリングマシン	4	5	自動長穴明機械	16	58
手押かんな盤	85	114	糸のこ盤	17	45
自動かんな盤	91	99	窯業機械		
エッジベルトサンダー	23	30	真空土練機	7	15
リップソー	47	51	試験機器		
そで付昇降盤	114	189	耐光性試験機	2	12
総件数		739件	総時間		1,226時間

(2) 試験分析業務

業 務 内 容	件 数	業 務 内 容	件 数
木材木質材試験		製品性能試験	
・強度試験	41	・繰返し衝撃荷重試験	85
・含水率測定	43	・静的強度試験	397
接着力試験	15	・衝撃試験	108
恒温恒湿処理試験		・耐久性試験	424
・恒温恒湿処理試験（大）	60		
・恒温恒湿処理試験（小）	18		
総件数		1,191件	

4 研修会・講習会・講演会

企業における技術・知識を備えた総合的人材を育成するため、従事者等を対象として、技術・技能の基礎知識、応用・最新技術等についての実習や座学等を開催した。

事業名／講習会名			テーマ	期 間	受講者数	講 師
旭川工芸技術等継承	実 習	木製品 実習コース	木材塗装の 基礎研修	R6. 9. 11・18	14人	(株)共立商会 代表取締役 金盛 俊博 氏
			C A M・N C ルータ操作研修	R7. 2. 25・27	1人	当所職員 千葉 将壽 野澤 早織
		窯業実習コース	石膏押し型の製作	R6. 10. 9 ～30 (うち9日間)	13人	当所職員 佐藤 亜沙美
	座 学	市販の糊薬の活用と 着色材・乳濁材等の効果		R6. 8. 21 ～27 (うち4日間)	18人	当所職員 佐藤 亜沙美
		接着に関する工程管理・実践編		R6. 8. 28	64人	(株)ノーザンフォレスト 代表取締役 竹次 修 氏
		木工施盤（POWER M A T I C社）の加工デモ		R6. 9. 26	33人	レジャー産業(株) 代表取締役 中島 信太郎 氏
		若き職人たちの技能五輪への挑戦		R7. 2. 5	27人	技能五輪国際大会及び 全国大会の出場者・指導員 8名

5 販売促進支援事業

家具、木彫等及び窯業の各分野において、販路拡大を図る各種展示会の開催・出展の支援等を実施した。

行事名／テーマ等		開催期間	概 要	
家 具	Meet up Furniture Asahikawa 2024	R6. 6. 19 ～23	会 場	旭川デザインセンターほか
			出展者数	44社
			来場者数	8,900人
木 彫	木彫りの源流 ～旭川木彫・工芸品協会展～	R6. 8. 22 ～26	会 場	イオンモール旭川駅前店
			出展者数	4社
窯 業	28th旭川陶芸フェスティバル	R6. 9. 21 ～22	会 場	旭川地場産業振興センター
			出展者数	101窯
			来場者数	12,332人

6 情報収集・発信事業

(1) 製造業実態調査の実施

旭川地域における木製家具等の製造業の実態調査を行った。

調査内容	回答件数
木製家具製造業実態調査	47件
木製建具製造業実態調査	9件
工芸品等製造業実態調査	35件
陶磁器製造業実態調査	30件

(2) 令和5年度事業報告書の発行 180部

(3) 工芸ニュース第88号の発行 300部

7 受入研修・派遣指導等

旭川地域の企業、教育・関係機関等からの依頼に応じ、技術者、学生等の受入研修・派遣指導等を行った。

機 関 等	内 容	実施期間	受入等人数
旭川家具工業協同組合	技能五輪国際大会出場選手 受入指導	R6.4～8	1人
旭川家具工業協同組合	技能五輪全国大会出場選手 受入指導	R6.9～11	3人
北海道旭川工業高等学校	インターンシップ	R6.9.4～6	2人
国際協力機構（JICA）	JICA研修 「産業クラスター・アプローチ による地域産業振興」	R6.9.10	6人

8 講師・審査員・委員等派遣

関係機関・団体等からの依頼を受けて、対象業界の活動を支援するため、職員を派遣した。

派遣先	派遣職員
技能 五輪国際大会招致委員会 選手強化部会 職種別分科会(家具)委員	副所長 小関 敬之

9 事業等紹介 ～令和6年度の取組～

(1) 国際家具デザインフェア(I F D A)旭川 2024 の開催支援

新しい生活文化の提案と発信を目的として、平成2年から3年ごとに開催している国際家具デザインフェア旭川(I F D A)は、今回で12回目の開催となる。国際的な木製家具のデザインコンペティションとして定着し、世界中のデザイナーと家具産地旭川にとって、より親密な国際交流を図る場となっている。

メイン事業であるデザインコンペティションは、38か国・地域から655点の応募があり、最高賞であるゴールドリーフ賞をはじめとする入賞作品5点が選定された。

選定に当たっては、今回新たな試みとして、本審査の前に入選候補15作品の応募者自らが審査委員の前で作品に込めた思いやコンセプトなどをプレゼンテーションする場が設けられ、さらに審査結果が表彰式場で発表されるなど、全ての賞が発表される瞬間まで楽しむことができる、よりエンターテインメント性の高い内容で行われた。

また、上記15作品は、「I F D A 2024 入賞入選作品展」として、6月19日から9月29日まで旭川デザインセンター内で展示された。



● I F D A 2024 入賞作品

賞名	受賞作品名	受賞者
ゴールドリーフ賞	Hug Chair	シュ・ユコウ (中国)
シルバーリーフ賞	U armchair	北原 悠唯 (日本)
ブロンズリーフ賞	Drawer and Shelf	可児 美帆 (日本)
	Dragi	コンラッド・ロヘナー (ドイツ)
メイプルリーフ賞	isunoki chairs tree	山内 敏行 (日本)



ゴールドリーフ賞 受賞作品
(旭川デザインセンターにて展示)

（２）技能五輪（家具職種） 出場選手受入研修

○技能五輪国際大会

世界中の若手職人がその技能を競うために２年に１度、技能五輪国際大会が開催されている。９月１０日～１５日にフランス第２の都市リヨンで開催された大会に渡部選手（㈱匠工芸）が家具職種の日本代表として出場することになったことから、当所では、４月から大会直前までの約５ヶ月間、受入研修を行った。



競技風景

【研修内容】

課題候補として公表されている３種のキャビネットを２２時間以内に完成させることを目標に練習を始め、競技ルールが詳らかになるにつれ、それらの要素を加味した練習に随時切り替えた。最終的に３種をミックスした課題になることが分かり、変更課題に対応した想定練習をこなした。旭川地域には、渡部選手を含め直近９大会連続で国際大会に出場している実績があり、大会出場経験者からのアドバイスを受けて、国際大会強化選手委員会の下に設置されている家具職種分科会の訓練方針に基づき研修を実施した。

【大会結果】

家具職種には２２か国・地域から選手が参加し１８位という結果だった。パーツ数が多く近年にないボリュームのある難しい課題だったが、渡部選手の最後まで諦めない粘り強さで課題を形にすることができた。製作の途中過程まで細部に渡って評価する国際大会の採点基準により予想より得点が伸び悩んだことに、更に上位を目指す際の難しさが感じられた。

○技能五輪全国大会

技能五輪全国大会は愛知県常滑市にあるAICHI SKY EXPOで１１月２３日・２４日に開催された。家具職種には旭川地域から６人の選手が出場。そのうち、小野選手（㈱ウッドパーツ）、中川選手（コーナス）、高橋選手（㈱匠工芸）の３人について９月から大会直前までの約２か月間、受入研修を行った。

【研修内容】

１１時間という制限時間内でいかに精度と仕上がりが良い状態で課題のキャビネットを完成させるかを目標に部分練習と通し練習を繰り返した。また途中２回、本番と同じ形式で出場する６人の選手が揃って合同練習を行うことで緊張感ある雰囲気の中で訓練を行うことができ、技術・技能に磨きをかけた。



練習風景

【大会結果】

競技前日に発表された課題に大きな変更はなく、熱戦が繰り広げられた。結果は全国から強豪多数（２５名）が参加する中、高橋選手と中川選手が銀賞、小野選手が銅賞に入賞と大いに健闘した。

○今後の支援内容

今後も旭川の選手が各種技能大会に出場する機会があると思われるが、今回の経験を生かし選手のスキルアップに貢献し、より充実した研修となるよう支援を行っていく。

令和７年度は国際大会の予選を兼ねた全国大会となり、令和６年度と同じく愛知での開催が予定されている。

（３）旭川工芸技術等継承事業

当所職員のほか国内各地の熟練技術者や経営者等を講師に迎え、技術や技能に関する基礎知識や、応用・最新技術等を学ぶ「旭川工芸技術等継承事業」を実施している。令和６年度は、実習３コース、座学４コースを開催した。

【木製品実習コース】

＜木材塗装の基礎研修＞

開催日 令和６年９月１１日（水）、１８日（水）
講師 (株)共立商会 代表取締役 金盛俊博 氏
受講者数 １４人
概要 主に塗装経験が浅い従事者を対象に、講師の指導のもと、受講者自身が配合から着色、上塗りまでの工程を行いながら、木材塗装の基本的な工程と技術を確認した。



＜CAM・NCルータ操作研修 ー平面加工ー＞

開催日 令和７年２月２５日（火）、２７日（木）
講師 当所職員 千葉将壽、野澤早織
受講者数 １人
概要 前年度までの基礎・初級研修の受講者を対象に、複数の工具を用いた加工や、加工モードの使い分けなど、より精度の高い加工を行うための考え方を確認した。

【窯業実習コース】

＜石膏押し型の製作＞

開催日 令和６年１０月９日（水）～３０日（水）（うち９日間）
講師 当所職員 佐藤亜沙美
受講者数 １３人
概要 石膏押し型の製作の基礎を再確認するとともに、身近な食品トレーなどから独自の形を作り出す手法や、精巧な彫り模様を加える手法などについて理解を深めた。

【座学コース】

＜市販の釉薬の活用と着色材・乳濁材等の効果＞

開催日 令和６年８月２１日（水）～２７日（火）
（うち４日間）
講師 当所職員 佐藤亜沙美
受講者数 １８人
概要 市販釉薬を用いながら様々な色や質感を生み出す手法についての確認や、テスト焼成結果を元にした考察等を行った。



＜接着に関する工程管理・実践編 ～はく離させないチェック法～＞

開催日 令和6年8月28日（水）
講師 (株)ノーザンフォレスト 代表取締役 竹次修 氏
受講者数 64人
概要 木材接着における接着剤の選定方法や、作業時の注意点、管理体制など、十分な接着強度を得るための具体的な方法についてお話しいただいた。

＜木工旋盤（POWERMATIC社）の加工デモ＞

開催日 令和6年9月26日（木）
講師 レジャー産業(株)
代表取締役 中島信太郎 氏
受講者数 33人
概要 POWERMATIC社の木工旋盤による加工方法やハイス刃物の取扱いなど、講師による実践を交えながらお話しいただいた。



＜若き職人たちの技能五輪への挑戦＞

開催日 令和7年2月5日（水）
講師 技能五輪家具職種出場選手及び指導員
(株)匠工芸 渡部礼嗣 氏、高橋溪純 氏
コーナス 中川仁 氏
(株)ウッドパーツ 小野竜平 氏
(株)WOW 荒瀬響 氏
北海道立旭川高等技術専門学院 楠本恭治 氏、佐藤稜馬 氏
北海道立旭川高等技術専門学院 造形デザイン科長 澤田貴之 氏
受講者数 27人
概要 令和6年度の技能五輪国際大会及び全国大会（家具職種）に出場した選手とその指導員を迎え、出場に向けた訓練の様子や、大会当日の様子などの経験談をお話しいただいた。



発行：旭川市工芸センター



〒078-8801

北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内

TEL：(0166) 66-1770 FAX：(0166) 66-1776

URL：<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/364/365/369/d053192.html>

e-mail：kougeicenter@city.asahikawa.lg.jp